

海上保安制度創設 70 周年記念式典
衆議院議長祝辞

本日ここに、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、海上保安制度創設 70 周年記念式典が挙行されるにあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

海は、地表の 7 割を占め、特に我が国は、その海に四方を囲まれ、貿易量の 99 パーセント以上を海に頼る海洋国家です。その海を大切にし、平和で安心して生活できる環境を保持していくことは、我が国の国是とも言える大切な使命です。

私たちは、戦後、海を守るという国の役割を果たすことが困難な立場に置かれておりましたが、昭和 23 年に海上保安庁を設置し、以来、今日まで、70 年間、海難救助や犯罪の予防・鎮圧、海洋汚染の防止といった活動に当たっていただきました。

海を巡る情勢が大きく変動している今日、海上の安全確保は、国民の生活に直結する経済活動の面においても重要な課題となっております。また、海水温度の上昇を始めとする気候変動によって、災害の大規模化が世界中で懸念されるなど、海を守ることは、今や世界共通の最重要課題となっております。

こうした情勢を踏まえ、国会におきましては、東京湾の海上交通管制を一元化し、非常災害時における船舶の移動措置を設けるなど、所要の法改正を行ってまいりました。海上保安庁の皆様方には、平和で豊かな海を後世につなげるため、引き続き、公務に精進していただくことを期待するところです。

結びに、本日、御列席の皆様方の御発展と御安航を祈念して、私の祝辞と致します。

平成三十年六月四日
衆議院議長 大島 理森